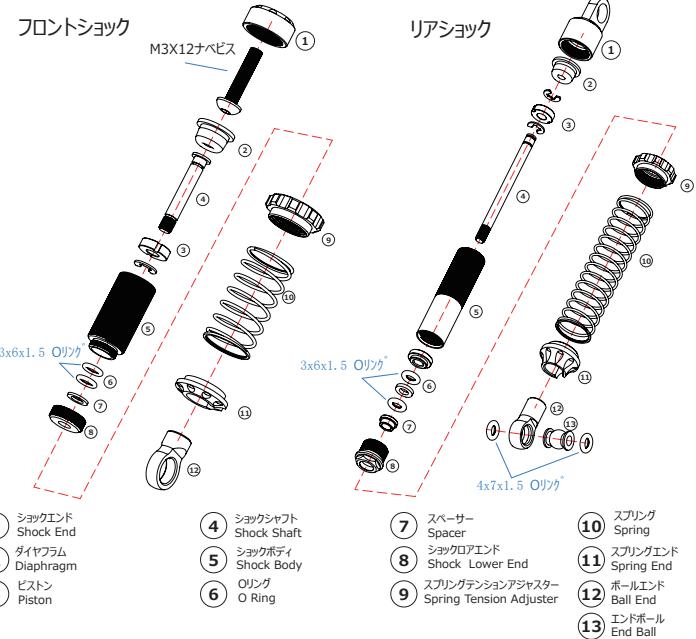


# #HNET-02 SPショックセット (ヨンクルアーリー別売)タミヤホーネット用

この度は、#HNET-02 SPショックセット：タミヤホーネット用をお買い求め頂きましたて誠にありがとうございます。本品は、テンションアジャスター＆ダイヤフラム付き、本格的ショックセットです。オイルの粘度や付属スプリングの選択、テンションダイヤルの調整などにより幅広いセッティングが可能です。これにより路面からの突き上げを抑制し、実車感あふれるスムーズなサスワークを実現しました。付属の前後スプリングは0.7mm/（ソフト赤）と0.8mm（ミディアム白）、0.9mm（ハード紺）があります。タミヤホーネットへ簡単に交換が可能です。

## 内容物

フロントダンパー	2本	フロントスプリングS	2本	M3ALナイロンナット	2個
リアダンパー	2本	フロントスプリングH	2本	M3ナイロンナット	2個
3X7X2mm Oリング	2個	リアスプリングS	2本	M3X12皿ビス	2本
4X7X1.5mm Oリング	12個	リアスプリングH	2本	M3X14ナベビス	2本
エンドボール	6個	M3X18皿ビス	2本	3x5.8x2.5スペーサー	2個
皿ワッシャー	4個	M3X22皿ビス	2本	3x5.8x6スペーサー	2個

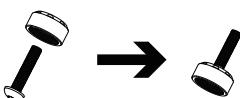


## 組立上の注意

- ※ その他の部品は、必要に応じてタミヤ純正の部品をお使いください。
- ※ 本製品は硬質アルミを使用しており、一部タミヤ製品に含まれているタッピングビスは併用できません。必ずマシンビスをお使いください。
- ※ 必要に応じて#3318 ロックタイト242ネジロック剤★350の使用をお勧め致します。

## フロントショックエンドの組立て

1. フロントショックエンドにM3X12ナベビスを取付けておきます。

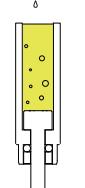


## オイルの注入の手順（オイルは別売です。）

ショックオイルの選択は、1/10オフロード用の標準的なオイルをお薦め致します。

2. ⑪のスプリングエンドと⑩のスプリングを取り外します。
3. ⑤のショックボディを指で押さえ、①ショックエンドと②ダイヤフラムを取り外します。
4. 図1 ショックボディを固定し、好みのシリコンオイルを注入します。

図1



5. 図2 ④ショックシャフトを静かに何度も上下させ、オイル内に入っている気泡を取り除きます。

時間をかけて完全に気泡を取り除くにはスタンドとなる物を用意して作業を行って下さい。

6. 約30分間待ちオイルから気泡を取り除きます。

7. 図3 ①気泡を抜きオイルが上部まで満たされた状態になっているショックボディにダイヤフラムを被せます。この際出来るだけ空気が入らないように注意してください。

8. 図3 ②ショックエンドをショックボディに取り付けます。あふれ出たオイルはふき取ってください。

## スプリング

9. 三種類の硬さのスプリングが付属しています。0.7mm/（ソフト赤）と0.8mm（ミディアム白）、0.9mm（ハード紺）

好みや仕様に合わせてセッティングを行ってください。

図2

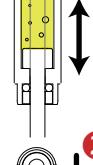
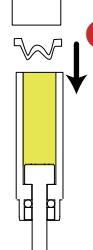
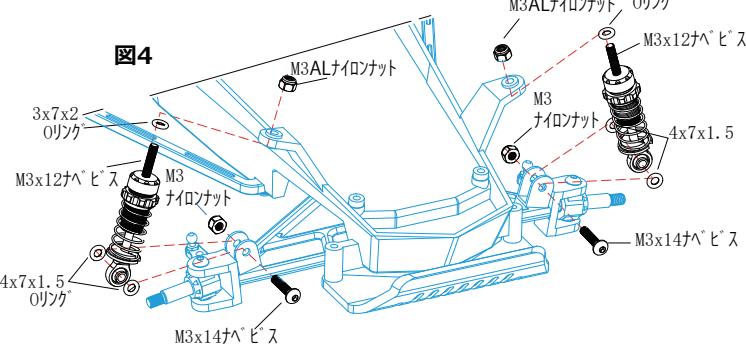


図3

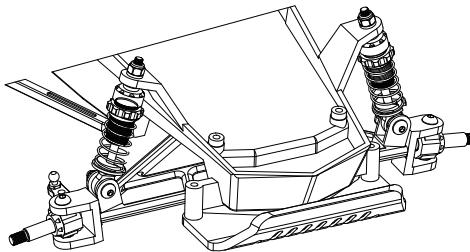


## フロントショックのシャーシへの取付



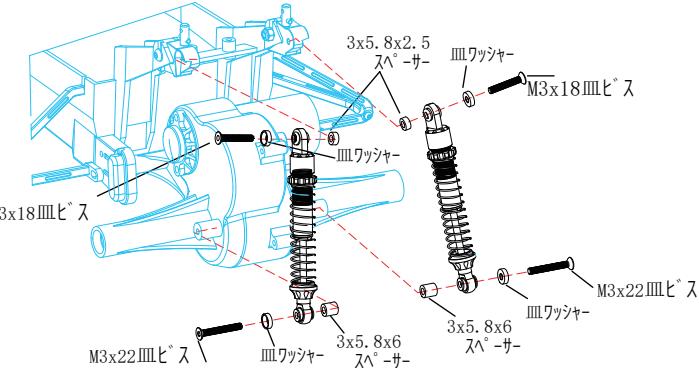
10. 図4の様にフロントショックの上部にあるM3X12のビスに3X7X2 Oリングを通してM3ALナイロンナットで固定します。この際、少し左右に動かすとアシストになります。※左右同じように組み立ててください。

11. 下側もボールエンドにエンドボールを通し、両側から4X7X1.5mm Oリングで挟み込むようにロアームに取付けM3X14ナベビスとM3ナイロンナットで固定します。※左右同じように組み立ててください。



## リアショックのシャーシへの取付

図5



12. 図5の様に、上側はM3X18皿ビスを皿ワッシャー、エンドボール、3X5.8X2.5スペーサーの順に通しリアショックタワーに固定します。※左右同じように組み立ててください。

13. 下側はM3X22皿ビスを皿ワッシャー、エンドボール、3X5.8X6スペーサーの順に通しギアボックスに固定します。※左右同じように組み立ててください。

14. ⑨スプリングテンションアジャスターを上下させ、好みのテンションに調整して下さい。